

国語科単元構想シート

単元名 「びわ湖の『イヤん』を伝えよう」 全11時間

教材名 「固有種が教えてくれること／グラフや表を用いて書こう(光村図書5年)」

単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力) ◎…指導の重点	○情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し 使うことができる。(2)イ [知識及び技能] ◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し 方を工夫することができる。「B書くこと」(1)エ ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の 進め方について考えたりすることができる。「C読むこと」(1)ウ [思考力、判断力、表現力等] ○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思い や考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」
---	---

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報と情報との関 連付けの仕方、図な どのによる語句と語 句との関係の表し 方を理解し使って いる。(2)イ	B書くこと(1)エ 「書くこと」において、引用した り、図表やグラフなどを用いたり して、自分の考えが伝わるように 書き表し方を工夫している。 C読むこと(1)ウ 「読むこと」において、目的に 応じて、文章と図表などを結び付 けるなどして必要な情報を見付 けたり、論の進め方について考え たりしている。	進んで自分の考えを 伝えるために、教材文 の文章と図表の結び 付け方を生かして、意 見文を書こうとして いる。

単元で取り上げる言語活動
 琵琶湖の「イヤん」について、図表やグラフを活用し、自分の考えを伝える。

単元の流れ	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て
★「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間 ① 学習の見通しをもち、学習計画を 立てる。★ ②③④自分の表現に生かすために、文章 と図表の結び付け方に注目して、 教材文「固有種が教えてくれるこ と」を読む。 ⑤ フローティングスクールを終え て、自分が調べたいと思ったこと や、考えを深めたいと思ったこと を見つけ、自分の考えをもつ。 ※総合的な学習の時間で、自分の考えに 合った図表やグラフを探す。 ⑥ 自分の考えと集めた図表やグラフ を使って友達と交流し、自分の考 えが伝わるか確かめる。★ ⑦～⑩何をどの順で書くかを考え、自分 の考えが伝わるかという目的をも って友達と交流しながら、意見文 を書く。★ ⑪ 自分の意見を4年生に伝える。	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て 「個別最適な学び」【個】・「協働的な学び」【協】
	A 主に文章や図、 グラフから読み 解き理解する力	B 主に他者とのやり とりから読み解 き理解する力	・フローティングスクールでの学習を通 じて、琵琶湖にまつわる出来事から、自 分が興味・関心のあることが見つけら れるよう、総合的な学習の時間と連携 を図る。【個】 ・自分が使いたいと思っている図表やグ ラフについて、教材文の筆者はどのよ うにして効果的に活用しているのかと いう視点で教材文の必要な部分を読む ことができるよう支援する。【個】 ・教材文を読むときは、自分が使いたい と思っている図表やグラフについて、同 じものを使いたいと考えている友達と、 効果的な活用方法を見つけられるよう、 交流の時間を設定する。自分が見つけ た効果的な活用方法については、学級全 体で交流する。【個】【協】 ・書く活動においては、1人1台端末を 活用し、文や文章を書き加えたり修正 したりできるようにする。また、友達 の意見文が見合えるように、共有機能 を活用し、互いの作品のよさを実感 できるようにする。【個】【協】
	必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】		
	教材文「固有種が教 えてくれること」か ら、文章と図表やグ ラフの結び付け方に 注目して読んでい る。	友達との交流を通し て、教材文「固有種 が教えてくれるこ と」の文章と図表や グラフの結び付け 方の工夫を見つけて いる。	
	情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】		
	自分が集めた、図表 やグラフから、自分 の考えを伝えるた めに必要なものを選 んでいる。	自分の考えが伝わる かという目的をも っ、考えと図表や グラフの使い方につ いて交流し、意見文 に生かしている。	
	自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】		
	友達との交流を踏ま えて、自分の考えが 伝わるような意見文 を書いている。	自分が書いた意見文 を伝えたい人に伝 え、意見をもらうこ とで、新たな視点に 気付いている。	